

誘導灯切り替えによるランニングコスト削減のご提案

「有窓階」の誘導灯には法的な**設置義務**がありません。(例外あり)
高輝度蓄光式誘導標識  に代替可能です。

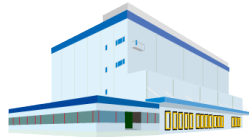
(アルファ・フラッシュ)

- ① 電気料金
 - ② 誘導灯バッテリー交換代
 - ③ 誘導灯の消防検査代
- の費用削減が可能です

【代替可能な建屋】



工場(50,000㎡未満)



倉庫(50,000㎡未満)



学校(50,000㎡未満)



自動車駐車場
(50,000㎡未満)



事務所・オフィスビル
(30,000㎡未満)
対象:10階まで
(11階から上階は
代替不可)



マンション・住宅
(30,000㎡未満)
対象:10階まで
(11階から上階は
代替不可)



神社・寺院・教会



役所・図書館
博物館・美術館

※都度、所轄消防に相談・承認が必要です



以下の都市は条例により**工場・マンション**等では代替不可(**事務所は可**)です。

東京都、大阪市、東大阪市、堺市、呉市、福山市、広島市、など

【切替イメージ】

誘導灯を取り外し
標識設置



誘導灯を消灯し
近くに標識を設置



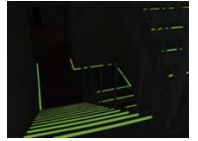
誘導灯の上から
貼り付け



【高輝度蓄光式誘導標識】

アルファ・フラッシュシリーズの特徴

- ①施工が簡単な**ステッカータイプ**の商品がメインであり、薄型 & 高輝度の特許製法です。
- ②**消防用設備等認定**を取得している消防設備です。
- ③発光性能がJIS規格 (JIS Z 9107) の上級基準を満たしており、**低照度でも蓄光**するハイスペック。
- ④消防署、各官庁、民間、鉄道、核施設等、**実績が豊富**です。



【導入までの手順】

1. 対象建屋の**建築確認申請書**から、**有窓階(普通階)・無窓階の判定を確認**。(ユーザー様or消防署)
2. **有窓階に誘導灯が設置**されている場合、所轄消防署予防課者に伺い、CO2・電気量削減の為、**高輝度蓄光式誘導標識**に切り替えたい旨を申請します(ユーザー様or出入りの消防設備業者)
この時、設置状況がわかる図面があればスムーズに進展します。
3. 所轄消防署予防課から許可されれば、代替え作業を行います(ユーザー様or電気工事業業者)
4. 届けに関しては、所轄消防署予防課の指示にしたがって下さい(ユーザー様or消防設備業者)

【採用実例から見る費用対効果】

長岡京市役所様 採用実例

防火対象施設 市役所



蛍光管誘導灯**31台** / 55台を高輝度蓄光式誘導標識へ代替
<削減費用積算方法>

$15\text{w} \times 24\text{h} \times 365\text{日} \times 31\text{台} = 4073.4\text{kw}$ (電気使用量)

$4073.4\text{kw} \times 23\text{円} / \text{kw} = 93,688\text{円} / \text{年}$

別途: バッテリー・ランプ交換等諸経費 約2,500円 / 年 / 台

電気代のみ削減額 **468,440円 / 5年**

ランニングコスト全体の削減額 **855,940円 / 5年**